

真校だより第118号 令和7年1月号

# ふきのとう

## 蔵王スキー宿泊研修(3年生)～高校3年間のスキー授業の集大成～



1月16日(木)から17日(金)にかけて、3年生が高校3年間のスキー授業の集大成となる蔵王スキー宿泊研修に行ってきました。宿泊施設の確保に苦労したり、ここ数年続く暖冬少雪の天候に悩まされたりと、担任団は出発まで心配が尽きないようでした。しかし、日頃の行いが良かったからか、直前の数日間で十分な積雪もあり、当日の天候もまずまずであったことから、生徒たちは気持ちよくスキーを楽しむことができました。3年間のスキー授業を通して、確かな技術と自信を身につけた3年生たちは、2日間を通して颯爽と滑っていました。仲間とともに蔵王の雄大な自然のなかで紡いだ楽しい思い出を、今後の生活の糧にして欲しいと思います。

## 地域文化学習会(わら細工)



1月16日(木)に、真室川校の学校評議員も務めて頂いている工房ストロー代表の高橋伸一さんを講師にお迎えし、地域文化学習会を開催しました。高橋さんは、高度経済成長期を境に徐々に失われていったわら細工の知恵や技術に価値を見だし、それに新たな発想を加えて現代の人々にも喜ばれるものを自らの手で産み出そうとしています。最近、「持続可能性」という言葉が注目されるようになりましたが、ないもの探しではなく地域にあるものを生かして、地域に根ざして生きていくモデルを提示されている高橋さんはその言葉を体現しています。生徒たちも、わら細工に夢中になりながら、それを感じ取ってくれたはずです。

## 全校ボランティア③(除雪支援)



1月29日(水)に、町の社会福祉協議会のご協力の下、1・2年生が真室川町の一人暮らしのお宅の除雪のお手伝いをさせていただきました。生徒たちはスコップとスノーダンプを駆使して、仲間と協力しながら一所懸命に雪を運び出しました。流れる汗がとても心地よかったです。いつも町の皆様に支えられている真室川校ですが、このような活動を通して少しでも町民の皆様のお役に立ち、喜んでいただけたら幸いです。

# 1・2年ソーシャルスキル学習会～しごとトーク・若手従業員のリアルなおはなし～



1月17日（金）に、ジモト大学（最上総合支庁連携支援室）の協力を得て、地元の事業所等に勤務する若手職員の方々から仕事の内容ややりがい等についてお話いただく特別授業を実施しました。1・2年生の生徒たちが3つの縦割り班に分かれ、20分ずつ時間を区切って部屋を移動しながらそれぞれのお話を聴く形式です。講師を務めて下さったのは、ヤマトテックの柿崎さん、高菊林業の根岸さん、自衛隊新庄地域事務所の渡辺さんの3名です。3名のうち2名が真室川校の卒業生ということで、生徒たちも親近感をもってお話を聴くことができたようで、積極的に質問して交流を深めていました。講師の方々からは、「高校生の中に挨拶や報告・連絡・相談をしっかりとる習慣と、失敗してもめげずにやり続けられる力を身につけよう」、「自分を知ること、自分を好きになること、熱中できることを探すこと、たくさん遊んで笑うこと、身近にいる友達・先生・家族を大切にすること」、「完璧な人はどこにもいない、会社に入って先輩に教えてもらいながら仕事を覚えれば良い」といった励ましの言葉を頂きました。生徒たちは、「3名とも自分自身の成長を感じながら充実した生活を送られていたので、将来への期待感が高まった」、「報告・連絡・相談といったコミュニケーションが大切だということが改めてわかった」といった感想を述べていました。まだまだ自分が社会人として自立した姿を想像できずにいる生徒が多いと思いますが、このような機会を積み重ねながら、進路に対する意識を少しずつ高めていって欲しいと思います。協力して下さい、ジモト大学担当者の皆様と、講師の方々にも心より感謝いたします。

## インターンシップ報告会

1月27日（月）に、2年生が1年生に向けてインターンシップの成果を報告しました。2年生は、各自が事前に設定したため、実際に体験した業務の内容、各職場の方々にインタビューした内容、インターンシップを通して学んだこと等について簡潔にまとめ、資料を提示しながらしっかり発表してくれました。1年生も上級生の発表をメモをとりながら集中して聴き、疑問点について積極的に質問をして、理解を深めようとしていました。体験した後にしっかりと振り返りを行い、学んだことをまとめて他者に伝えるという活動が、思考・判断・表現力の向上を促します。

次は1年生の番ですね。楽しみにしていますよ！



## 3Dコンピュータグラフィックス展示



1月16日（木）～30日（木）の約2週間に渡り、真室川町中央公民館の階段踊り場に、3年「ソフトウェア活用」選択者（卒業生分を含む）が作成した3Dコンピュータグラフィックスの作品を展示させて頂きました。真室川校生の多様な学習活動の一端を町民のみなさまに知って頂くよい機会になったと思います。

## ホワイトアスロン2025～地域の若者たちとともに冬を楽しみました～

1月25日（土）に、真室川町の地域行事「ホワイトアスロン2025」が開催されました。真室川校は、町からの参加要請を受けて急遽この日を登校日とし、卒業テスト目前の3年生を除く1・2年生全員で参加することに決めました。開会式では、加藤太一君、五十嵐陽平君、山田翔太君の3名が選手宣誓の大役を果たしました。また、競技には5チーム（3人1組）が参加して、大会を盛り上げました。表彰台には届かなかったものの、各競技では多くの生徒が弾ける笑顔と躍動的な姿でキラリと光る瞬間がありました。地域の方々から大きな声で名前を呼んで応援して頂く生徒もあり、地域行事ならではの心温まる光景だなあと嬉しくなりました。町の職員の方々を始め、運営に当たられたスタッフの方々にも感謝したいと思います。



学校HP